

令和3年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（東部地区） 議事要旨

日時：令和3年11月19日（金） 午後2時～4時

場所：鳥取県東部庁舎2階202会議室

（1）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

- 海岸の侵食により鳥取空港の進入塔橋が被災するのではないかと危惧している。引き続き、鳥取港に堆積した土砂を西側へ海上養浜していただきたい。
- 田後港から浦富海岸への海上養浜について、現在は人工リーフ開口部の沖側に海上投入しているが、田後港への堆砂問題や砂浜への寄与の観点から、今後は岸側への投入も検討したい。
- 将来にわたって、深淺測量が有効活用されるよう各海岸管理者が測量時期を合わせるなど、この調整会議を活用し、更に連携を図っていきたい。

（2）各管理者の土砂管理への取組

■千代川流域における流砂系土砂動態の把握に関する検討

- 今回の結果が、オーダー的に土砂管理ガイドラインと近いことから安心した。今後、2次元モデルで計算を深めるといふことで注視したい。

■浜村地区災害復旧工事概要

- 波返し、サンドバック、更に覆砂や波除堤も完成したということ、国道もしっかり守れるのではないかと思う。
- 波返の前面にサンドバックを置いていただいたということは、反射波や戻り流れなどの問題に対し、非常に大きな成果であったと思う。

■気高海岸侵食対策工事实施状況

- 浜村川付近の海岸線を維持するためにも船磯漁港からの浚渫土は、最低でも浜村川付近まで海上運搬し、投入する必要があると考えている。
- 今後も注視が必要と考えている。ただ、波除堤も20mの延長ということで規模としてはこれくらいで安定すると思われる。

■湯山海岸における海岸侵食対策の効果検証について

- 千代川右岸の突堤付近（西側端部）のシミュレーション結果が、実態に即したものとなっていない。（実態としては、堆砂傾向が確認されている。）土砂管理ガイドラインを策定した際は、このような計算結果ではなかったと思われる。
- 今回はn-lineモデルでのシミュレーションとのことであるが、土砂管理ガイドラインで用いた混合粒形one-lineモデルでシミュレーションをした方が、過去との整合が図れるという意味で良かったのではないかと考える。
- 気候変動に伴う海面上昇は国の指針等でも検討するようになってきているため、徐々にでも海面上昇の影響も考慮していただきたい。